

第20期 中間事業報告書

平成16年11月1日から平成17年4月30日まで

高齢者介護の未来をひらく

日本ロングライフ株式会社

証券コード4355

ロングライフ・クイーンズ塩屋

営業活動を強化しホームの差別化を図る

株主の皆さまにおかれましては、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、当社第20期中間(平成16年11月1日から平成17年4月30日まで)事業報告書をお届けするにあたり、ひとことご挨拶申し上げます。

競争激化する介護業界

当社企業グループの属する介護業界におきましては、介護保険制度の施行から5年が経過し保険制度が定着した結果、介護保険が利用できる「要介護(要支援)認定者数」は平成17年1月末に407万人(前年比7.9%増)(出展:厚生労働省「介護保険事業状況報告」となり、うちサービス利用者は80%の324万人(前年比10.0%増)(出展:厚生労働省「介護保険事業状況報告」と着実に増加しております。このような状況下、介護事業分野の市場は引き続き拡大しているものの、民間企業の市場参入が相次いでおり、競争が激化しております。

当社企業グループではこのような事業環境の中で、長期安定成長の事業基盤構築に向け、ホームの増設や在宅介護サービス拠点(特に、デイサービス)の拡充、介護用品販売およびレンタル事業の展開、介護分野の人材派遣会社「エルケアサポート株式会社」の派遣事業の拡充など積極的な営業活動を展開してまいりました。

その結果、当中間連結会計期間の売上高は16億18百万円となり、利益につきましては、営業利益は54百万円、経常利益は35百万円、中間純利益は23百万円となりました。

ホーム介護事業においては、新たな有料老人ホーム建設の取り組みと積極的な販売活動を展開した結果、ロングライフ甲子園口およびロングライフ高槻1号館・ロングライフ千里山

等の既存施設の入居率向上に加え、新規施設であるロングライフ高槻11号館(平成16年11月オープン)、ロングライフ緑地公園(平成17年3月オープン)およびロングライフ・クイーンズ塩屋(平成17年4月オープン)の販売が寄与し、売上高は11億53百万円となりました。

在宅介護事業においては、在宅介護サービス重視の政策に合わせ、ヘルパーステーションの開設、デイサービスの充実を行ってまいりました。その結果、前期に開設したヘルパーステーションの売上が寄与し、売上高は4億1百万円となりました。

その他の事業においては、訪問介護員の養成を行う「ロングライフ医療福祉専門学院」については、行政が介護従事者に求める資格要件の見直しを検討しているという報道の影響等により、受講生数が予想を下回る結果となりましたが、当中間連結会計期間からエルケアサポート株式会社を連結子会社としたため、売上高は63百万円となりました。

勝つための取組み

当社企業グループのホーム介護事業におきましては、人材派遣・デベロッパー・医療・外食産業など異業種からの新規参入の増加といった要因により市場は急激に競争の激しさを増しております。そこで当社企業グループといたしましては当連結会計期間は、2,000万円台の価格帯を中心とした富裕層向けの高級介護ホームへの注力、立地条件に合わせた個性溢れる手作りホームによる差別化、ホーム販売強化のための不動産会社とのアライアンスの拡大、サービスの質を向上させるためのコンプライアンスの徹底といった事業方針を打ち出し、勝ち組となるべく戦力を強化しております。具体的には、上述した上期オープンの各ホームのグレードアップ並びに販売の強化に加え、下期にはロングライフ成城を

平成17年9月にオープンする予定で、関東地区に本格的な足がかりの場を築くほか、平成17年4月には55名の新卒社員を採用するなど、人材投資にも積極的に資金を投入してまいります。

一方、在宅介護事業におきましては、前期に開設したヘルパーステーションとともに、この5月に開設したデイサービスセンター2カ所の営業による売上への寄与が予想されます。

競争の激化による外部環境は、厳しさを増しておりますが、我が国高齢者は、決して社会的弱者ではなく、世界の億万長者の6人に1人は日本人であるという事実からも当社の富裕層にターゲットを絞った差別化戦略は、必ず功を奏するものと確信しております。

株主の皆さまにおかれましては、今後とも格別のご理解とご支援を賜りますよう切にお願い申し上げます。

平成17年7月



代表取締役社長

遠藤 一

代表取締役副社長

比村 政美

日本ロングライフの基本理念について

目 標

日本ロングライフのサービスを受けていただき、「日本ロングライフはこんな事までしてくれるのか!」と感動してくださるお客様を一人でも多く作ります。

ポリシー

「日々、価値のある質の高いトータル的な高齢者サービスの提案で挑戦」

日本ロングライフのテーマは「人生はどんどん楽しくなる」というものです。

私達は今も社会に残る「老人は社会的弱者だ」という言葉に代表されるような高齢者に対する古いイメージを改革し、今の現代社会が求めている「多様な質の高いサービス」をお客様へご提供いたします。

そして、世界で初めて「ケアとは単に身体ケアだけではなく、文化と背景、心地よい空間、質の高い身体ケア、以上、この3つを統合したケアサービスをお客様に提供すること」を実践し続けていきます。

さらに、お客様がグッドフィーリング(顧客満足)と感じるということにこだわり続け、「老いることは耐えがたいことではなく、楽しむことである」という新しい文化を社会に広め、そして発展させることを目指しています。

日本ロングライフの介護コンセプトと5つの特色

お客様中心主義

専門職集団のチームケア

ダイバーショナルセラピー(DT)の実践

(お客様の楽しみを毎日、瞬間瞬間、共に作り出す)

心地よい空間の提供

質の高い全人的、身体介護

ロングライフ・ウイメンズ塩屋 4月22日オープン



最上級のやすらぎをお届けする、
気品に満ちた住空間。

ハイグレードタイプの有料老人ホーム「ロングライフ・ウイメンズ塩屋」が2005年4月22日、淡路島を見渡す温暖な地、塩屋にオープンいたしました。おだやかな海、美しい山々に包まれた街、塩屋。1986年の設立以来、介護サービスを専門に多彩な活動を行ってきた日本ロングライフが、これまで培ったノウハウを最大限に生かし、ワンランク上の上質な暮らしを演出するゆとりの空間をお届けいたします。

ロングライフの有料老人ホームは専門的な研修を受けた介護スタッフや看護師が、いつもご入居者様のお近くにおいて、必要に応じて介護を行っております。また各種イベント、お買い物や散歩の同行など、ご入居者様が不安や孤独を感じることはないようサポートしております。

2005年9月には首都圏における初めての有料老人ホームである「ロングライフ成城」の開設を予定しております。これを機に東京・関東エリアでも積極的な事業展開を推進していきたいと考えております。



2005年9月
オープン予定

ロングライフ成城



ロングライフ高槻I号館



ロングライフ高槻II号館



ロングライフ緑地公園

中間連結貸借対照表

(単位:千円)

科目	当中間期
(資産の部)	
流動資産	2,374,341
現金及び預金	1,961,452
売掛金	258,802
たな卸資産	6,741
繰延税金資産	20,561
その他	127,017
貸倒引当金	233
固定資産	5,249,287
有形固定資産	4,901,084
建物	2,629,001
構築物	241,230
車両運搬具	1,715
工具器具備品	195,042
土地	1,684,116
建設仮勘定	149,979
無形固定資産	6,186
投資その他の資産	342,016
繰延税金資産	13,829
差入保証金	216,388
その他	111,799
繰延資産	10,000
資産合計	7,633,629
(負債の部)	
流動負債	2,729,502
買掛金	9,780
一年以内返済予定長期借入金	438,400
未払金	393,654
未払法人税等	30,886
前受金	1,731,721
賞与引当金	21,382
その他	103,677
固定負債	2,211,806
社債	500,000
長期借入金	1,651,800
退職給付引当金	3,882
ホーム介護アフターコース引当金	19,980
その他	36,143
負債合計	4,941,308
(少数株主持分)	
少数株主持分	-
(資本の部)	
資本金	1,112,524
資本剰余金	1,111,761
利益剰余金	468,624
自己株式	589
資本合計	2,692,320
負債・少数株主持分及び資本合計	7,633,629

中間連結損益計算書

(単位:千円)

科目	当中間期
売上高	1,618,010
売上原価	1,177,717
売上総利益	440,293
販売費及び一般管理費	385,512
営業利益	54,780
営業外収益	2,845
営業外費用	22,096
経常利益	35,529
特別利益	26,441
特別損失	9,693
税金等調整前中間純利益	52,277
法人税、住民税及び事業税	26,610
法人税等調整額	2,176
中間純利益	23,490

中間連結剰余金計算書

(単位:千円)

科目	当中間期
(資本剰余金の部)	
資本剰余金期首残高	1,099,725
資本剰余金増加高	12,035
増資による新株式の発行	12,035
資本剰余金中間期末残高	1,111,761
(利益剰余金の部)	
利益剰余金期首残高	493,760
利益剰余金増加高	23,490
中間純利益	23,490
利益剰余金減少高	48,627
配当金	48,627
利益剰余金中間期末残高	468,624

連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

科目	当中間期
営業活動によるキャッシュ・フロー	649,294
投資活動によるキャッシュ・フロー	694,794
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,016,962
現金及び現金同等物の増加額	971,462
現金及び現金同等物の期首残高	839,990
現金及び現金同等物の中間期末残高	1,811,452

中間個別財務諸表

中間貸借対照表

(単位:千円)

科目	前中間期	当中間期	前期
(資産の部)			
流動資産	1,168,030	2,352,475	1,397,148
現金及び預金	881,532	1,945,170	1,031,076
売掛金	221,831	253,485	248,102
たな卸資産	1,695	6,741	6,231
繰延税金資産	19,706	20,552	21,797
その他	43,265	126,524	89,940
固定資産	3,648,694	5,259,087	4,542,936
有形固定資産	3,395,415	4,900,884	4,218,724
建物	1,413,301	2,629,001	2,053,937
構築物	84,615	241,230	169,513
車両運搬具	1,393	1,715	1,085
工具器具備品	46,216	194,842	107,883
土地	1,672,721	1,684,116	1,678,412
建設仮勘定	177,168	149,979	207,892
無形固定資産	3,672	6,186	4,359
投資その他の資産	249,606	352,016	319,851
関係会社株式	10,000	10,000	10,000
繰延税金資産	16,102	13,829	14,769
差入保証金	138,579	216,388	203,894
その他	84,924	111,799	91,187
繰延資産	-	10,000	-
資産合計	4,816,725	7,621,563	5,940,084
(負債の部)			
流動負債	1,533,196	2,719,855	1,912,438
買掛金	6,877	9,780	7,214
一年以内返済予定長期借入金	120,000	438,400	288,000
未払金	198,940	391,664	184,358
未払法人税等	46,000	29,018	27,797
前受金	1,074,459	1,731,721	1,302,830
賞与引当金	18,518	21,382	25,683
その他	68,400	97,888	76,553
固定負債	658,905	2,211,806	1,333,637
社債	-	500,000	-
長期借入金	550,000	1,651,800	1,250,000
退職給付引当金	2,869	3,882	3,218
ホーム介護アワード引当金	21,060	19,980	20,520
長期未払金	84,975	34,543	59,419
その他	-	1,600	480
負債合計	2,192,102	4,931,662	3,246,076
(資本の部)			
資本金	1,100,488	1,112,524	1,100,488
資本剰余金	1,099,725	1,111,761	1,099,725
資本準備金	1,099,725	1,111,761	1,099,725
利益剰余金	424,997	466,204	494,383
利益準備金	8,700	8,700	8,700
任意積立金	25,000	25,000	25,000
中間(当期)未処分利益	391,297	432,504	460,683
自己株式	589	589	589
資本合計	2,624,622	2,689,900	2,694,008
負債及び資本合計	4,816,725	7,621,563	5,940,084

中間損益計算書

(単位:千円)

科目	前中間期	当中間期	前期
売上高	1,189,642	1,591,889	2,654,104
売上原価	752,104	1,163,716	1,720,793
売上総利益	437,538	428,173	933,310
販売費及び一般管理費	273,280	377,269	667,663
営業利益	164,257	50,903	265,646
営業外収益	1,635	1,563	2,589
営業外費用	21,501	21,833	29,238
経常利益	144,391	30,633	238,998
特別利益	8,637	26,441	36,840
特別損失	15,777	9,693	5,962
税引前中間(当期)純利益	137,251	47,381	269,876
法人税、住民税及び事業税	52,542	24,748	116,539
法人税等調整額	11,423	2,185	10,665
中間(当期)純利益	73,285	20,447	142,671
前期繰越利益	318,012	412,056	318,012
中間(当期)未処分利益	391,297	432,504	460,683

中間キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

科目	前中間期	前期
営業活動によるキャッシュ・フロー	78,010	495,760
投資活動によるキャッシュ・フロー	1,622,607	2,786,415
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,897,644	2,763,244
現金及び現金同等物の増加額	353,046	472,590
現金及び現金同等物の期首残高	358,485	358,485
現金及び現金同等物の中間期末・期末残高	711,532	831,076

会社概要

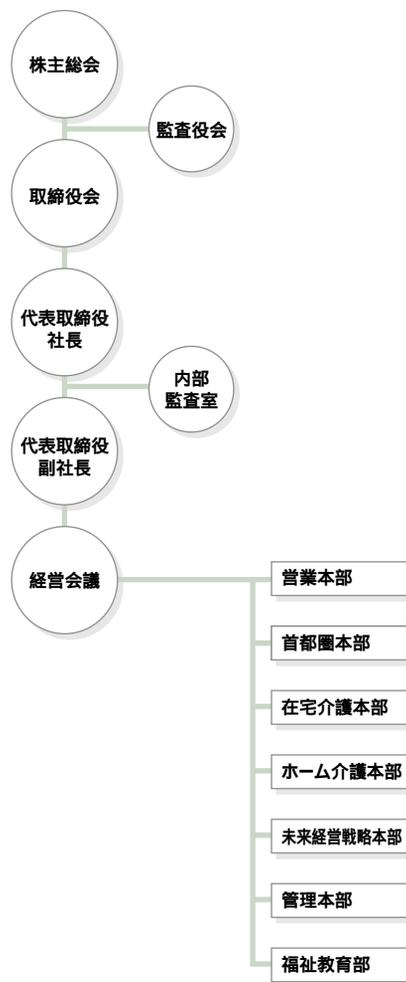
平成17年4月30日現在

設立	1986年9月(昭和61年9月)
資本金	11億1,252万円
代表者	代表取締役社長 遠藤 正一 代表取締役副社長 北村 政美
従業員数	正社員138名、準社員710名
事業内容	ホーム介護事業・在宅介護事業・福祉教育事業・ 介護用品のレンタルおよび販売事業・介護タクシー事業
事業所	有料老人ホーム・グループホーム・保育園 ロングライフ長居公園Ⅰ号館 / ロングライフ長居公園Ⅱ号館 ラビアンローズ宝塚 / グループホームみなせⅠ号館 グループホームみなせⅡ号館 / ロングライフ芦屋 ロングライフうつぼ公園 / ロングライフ上野芝 ロングライフ甲子園口 / ラビアンローズ上野芝 ロングライフ高槻Ⅰ号館 / ロングライフ千里山 ロングライフ高槻Ⅱ号館 / ロングライフ緑地公園 ロングライフ・クイーンズ塩屋 / のぼら保育園 エルケア在宅介護ステーション エルケア阿倍野 / エルケア玉出 / エルケア平野 エルケア九条 / エルケア住吉 / エルケア桃谷 エルケア豊中 / エルケア千里中央 / エルケアみなせ エルケア庄内 / エルケア塚本 / エルケア堺 / エルケア鳳 エルケアみなと / エルケア京橋 / エルケア岸和田 エルケア世田谷 / エルケア等々力 / デイサービスみなせ デイサービス阿倍野 / デイサービス高槻 平成17年5月1日開設 ロングライフ医療福祉専門学院 梅田校 / なんば校 人材・研修センター ロングライフなんばプラザ(ロングライフなんば研修センター)

会社役員

代表取締役社長	遠藤 正一
代表取締役副社長	北村 政美
取締役	小嶋 ひろみ(ホーム介護本部担当)
取締役	西川 修(首都圏本部長)
取締役	瀧村 明泰(執行役員未来経営戦略本部長兼経営企画室長兼経理財務統括マネジャー)
取締役	大垣 清之輔(管理本部長)
取締役	往岸 宏史(執行役員在宅介護本部長)
常勤監査役	大植 史義
監査役	木村 公之
監査役	米田 昭三郎
執行役員	米田 節子(ホーム介護本部長)
執行役員	橋本 恭弘(ホーム介護本部フード部長)
執行役員	松山 純一郎(管理本部人事課統括マネジャー)

会社組織図



子会社

エルケアサポート株式会社
(平成15年11月5日設立)



日本ロングライフ株式会社

本 社

〒530-0015 大阪市北区中崎西二丁目4番12号
梅田センタービル25階
TEL:06-6373-9191 FAX:06-6373-9197
URL:<http://j-longlife.co.jp/>

お客様相談室

フリーコール ここわ・ふくし
 0120-550-294

株主メモ

決 算 日 / 毎年10月31日

定時株主総会 / 毎年1月

配当金受領株主 / 毎年10月31日

確定日
なお、中間配当を行う場合の株主確定日は
毎年4月30日です。

名義書換代理人 / 東京都千代田区丸の内一丁目4番3号

UFJ信託銀行株式会社

同事務取扱場所 / 〒541-8502

(お問い合わせ先)

大阪市中央区伏見町三丁目6番3号

UFJ信託銀行株式会社

大阪支店証券代行部

0120-094-777(フリーダイヤル)

同 取 次 所 / UFJ信託銀行株式会社 全国本支店

野村證券株式会社 全国本支店

公 告 掲 載 新 聞 / 日本経済新聞

なお、決算公告に代えて、貸借対照表および
損益計算書を当社のホームページ
<http://j-longlife.co.jp/>に掲載しております。

上場証券取引所 / 大阪証券取引所ニッポン・ニュー・マーケット

— 「ヘラクレス」

株式関係のお手続き用紙のご請求は、次のUFJ信託銀行の
電話およびインターネットでも24時間承っております。

受付フリーダイヤル 0120-244-479 (本店証券代行部)
0120-684-479 (大阪支店証券代行部)

インターネットホームページ <http://www.ufjtrustbank.co.jp/>

日本ロングライフ株式会社のIRメールは、下記のアドレスから
登録していただけます。

http://www.kcr-inc.com/j-longlife/mail/toroku_ap.htm